



平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日
上場取引所 大

上場会社名 三精輸送機株式会社
コード番号 6357 URL <http://www.sanseiyusoki.com/>
代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
定時株主総会開催予定日 平成24年6月28日
有価証券報告書提出予定日 平成24年6月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 中川 実
(氏名) 昇 賢治
TEL 06-6385-5621
配当支払開始予定日 平成24年6月29日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 13,689 | 2.9 | 968 | △29.5 | 1,168 | △27.3 | 684 | 39.9 |
| 23年3月期 | 13,303 | 0.9 | 1,374 | △26.6 | 1,606 | △26.3 | 489 | △31.6 |

(注) 包括利益 24年3月期 658百万円 (33.2%) 23年3月期 494百万円 (△64.6%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益 | 自己資本当期純利益 率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|--------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 24年3月期 | 42.18 | — | 3.2 | 4.5 | 7.1 |
| 23年3月期 | 30.16 | — | 2.3 | 5.9 | 10.3 |

(参考) 持分法投資損益 24年3月期 一百万円 23年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期 | 25,401 | 21,696 | 85.4 | 1,336.96 |
| 23年3月期 | 26,882 | 23,253 | 79.1 | 1,310.35 |

(参考) 自己資本 24年3月期 21,696百万円 23年3月期 21,265百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|--------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 24年3月期 | 580 | △791 | △272 | 5,597 |
| 23年3月期 | 265 | △532 | △269 | 6,080 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当 率(連結) |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 23年3月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 | 227 | 46.4 | 1.1 |
| 24年3月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 | 227 | 33.2 | 1.1 |
| 25年3月期(予想) | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 | | 64.9 | |

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期 純利益 |
|----|--------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,000 | △19.6 | 700 | △27.7 | 800 | △31.6 | 350 | △48.9 | 21.57 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|--------|--------------|--------|--------------|
| 24年3月期 | 19,332,057 株 | 23年3月期 | 19,332,057 株 |
| 24年3月期 | 3,103,982 株 | 23年3月期 | 3,103,507 株 |
| 24年3月期 | 16,228,350 株 | 23年3月期 | 16,229,560 株 |

(参考) 個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期 | 13,591 | 2.9 | 19 | △94.9 | 301 | △54.3 | 185 | △23.8 |
| 23年3月期 | 13,211 | 1.4 | 372 | △45.3 | 658 | △33.6 | 243 | △29.8 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 |
|--------|------------|-------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | 11.41 | — |
| 23年3月期 | 14.98 | — |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------|--------|---|--------|---|--------|---|----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 24年3月期 | 20,995 | | 17,458 | | 83.2 | | 1,075.85 | |
| 23年3月期 | 20,849 | | 17,517 | | 84.0 | | 1,079.45 | |

(参考) 自己資本 24年3月期 17,458百万円 23年3月期 17,517百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績 | 2 |
| (1) 経営成績に関する分析 | 2 |
| (2) 財政状態に関する分析 | 3 |
| (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 経営方針 | 5 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 5 |
| (2) 目標とする経営指標 | 5 |
| (3) 中長期的な会社の経営戦略 | 5 |
| (4) 会社の対処すべき課題 | 5 |
| 3. 連結財務諸表 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (連結損益計算書) | 8 |
| (連結包括利益計算書) | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | 14 |
| (6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項 | 14 |
| (7) 追加情報 | 16 |
| (8) 連結財務諸表に関する注記事項 | 16 |
| (セグメント情報) | 16 |
| (1株当たり情報) | 19 |
| (重要な後発事象) | 19 |
| 4. その他 | 20 |
| (1) 役員の変動 | 20 |

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響に加え欧州における金融不安や長引く円高等、先行きに不透明感が拭えないまま推移いたしました。

このような環境下、当社グループは舞台機構・遊戯機械・昇降機の3事業分野で、業績の向上に全力で取り組みました結果、売上高は13,689百万円（前期比2.9%増）となりましたものの、利益面では、一部の低採算工事の影響もあり営業利益は968百万円（同29.5%減）、経常利益は保険配当金等により1,168百万円（同27.3%減）となりました。

当期純利益は連結子会社の完全子会社化等により684百万円（同39.9%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

製品製造関連

製品製造関連の売上高は、遊戯機械部門の大型物件の納入が一巡したこと等により売上高は4,473百万円（同11.1%減）となり、つれてセグメント利益は889百万円（同19.7%減）となりました。

保守改修関連

保守改修関連の売上高は、改修工事が堅調に推移し8,987百万円（11.7%増）となりましたが、セグメント利益は諸経費の増加から943百万円（同5.9%減）となりました。

その他

その他につきましては、売上高は228百万円（同1.5%増）となり、セグメント利益は66百万円（同18.0%減）となりました。

②次期の見通し

次期の見通しにつきましては、遊戯機械部門の大型工事が完工したことや、舞台機構部門においても大・中規模の新規工事が減少すること等により、端境期になると見込んでおります。

そのため、昇降機部門や改修工事において短納期物件の受注獲得に注力のうえ、業績の向上を図ります。

また、当社グループは受注産業であり、業績予想を年次で構築しているため、第2四半期累計期間における業績予想を算出することが困難であり開示を省略しております。

次期（通期）の連結業績予想は、下記のとおりです。

（単位：百万円）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|--------|-------|------|--------|------|--------|-------|--------|
| 平成25年3月期 | 11,000 | △19.6 | 700 | △27.7% | 800 | △31.6% | 350 | △48.9% |

（%表示は、対前期比）

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,952百万円減少し13,235百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が627百万円増加しましたものの、現金及び預金が701百万円、有価証券が1,634百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ470百万円増加し12,165百万円となりました。

これは主に、連結子会社の完全子会社化によるのれん358百万円の計上及び繰延税金資産が146百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,481百万円減少し25,401百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し2,388百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し1,316百万円となりました。

これは主に、退職給付引当金の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し3,705百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,557百万円減少し21,696百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が457百万円増加しましたものの、少数株主持分が1,988百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ482百万円減少し5,597百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて315百万円増加し580百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,157百万円、減価償却費259百万円、たな卸資産の減少106百万円等であり、支出の主な内訳は売上債権の増加627百万円、法人税等の支払489百万円等によるものであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて258百万円増加し791百万円となりました。収入の主な内訳は、有価証券の売却及び償還による収入1,577百万円(純額)であり、支出の主な内訳は、子会社株式の取得による支出2,347百万円によるものであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動に使用した資金は、前連結会計年度に比べて2百万円増加し272百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成20年3月期 | 平成21年3月期 | 平成22年3月期 | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|-----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 79.3 | 81.2 | 77.8 | 79.1 | 85.4 |
| 時価ベースの自己資本比率 (%) | 48.4 | 25.2 | 26.0 | 26.0 | 25.8 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%) | — | 0.4 | 0.4 | 7.7 | 2.6 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) | 840.5 | 2,588.1 | 3,744.8 | 1,911.3 | — |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと考え以下の点を総合的に勘案し配当金を決定しております。

- ① 長期かつ安定的な利益還元
- ② 当期収益の水準
- ③ 手持受注工事の期末残高

また、企業価値向上や成長期待分野への投資、新規事業開拓等の資金需要に充当するため、内部留保を図り安定かつ積極的な事業発展のため活用してまいります。

なお、今回の期末配当金につきましては、平成24年6月28日開催予定の第62回定時株主総会において7円(中間配当金と合わせると年14円)を付議する予定であります。

次期の配当につきましては、目下のところ年14円(中間配当金7円)を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、舞台機構・遊戯機械・昇降機の3事業をコアとして、「技術」と「品質」と「顧客対応力」で他社の追随を許さぬグローバルな企業を目指します。

(2) 目標とする経営指標

当社が目標としている経営指標は、経済情勢等による業務環境の変動がありますが、中長期的には、連結売上高経常利益率10%以上であります。この目標を達成するため、事業効率の向上、合理化推進による原価低減等、従業員一人ひとりが企業価値の向上を意識した活動を実施してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

① 成長戦略の構築とアクション

販売・調達両面での海外市場への積極的対応や関連する他分野への参入検討、M&Aや他社との提携・協力などに注力し、事業の成長を目指します。

② グループ力の充実と発揮

受注からメンテナンスまで一貫して対応できるユニークな企業として、グループの一体感を強め、お客さまへの対応力をさらに向上させていきます。

③ 品質・技術力の向上

安全・安心・快適な製品提供に加え、お客さまのニーズや期待値を超えるような新製品や製品改良等の研究開発にも積極的に取組み、品質・技術力を高めていきます。

(4) 会社の対処すべき課題

わが国経済は、依然として先行き不透明感が拭えない状況にあり、当社グループが関係する建設関連業界のおかれている経営環境はさらに厳しさを増すと考えております。

このような情勢の中、当面の業績向上と経営基盤の強化に全力で取組むと共に、事業環境の変化やお客さまのニーズをしっかりと捉え、次なる成長のための事業構想を明確化し、実現のための具体的な戦略を描いて着実に実行してまいります。

3. 連結財務諸表
(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,339,627 | 5,638,359 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,326,502 | 5,953,713 |
| 有価証券 | 2,443,667 | 809,305 |
| 仕掛品 | 371,400 | 272,475 |
| 原材料及び貯蔵品 | 277,723 | 269,860 |
| 未収消費税等 | 18,340 | — |
| 繰延税金資産 | 347,581 | 263,155 |
| その他 | 63,094 | 39,169 |
| 貸倒引当金 | △7 | △10,248 |
| 流動資産合計 | 15,187,931 | 13,235,789 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,182,456 | 4,340,380 |
| 減価償却累計額 | △1,221,928 | △1,354,849 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,960,528 | 2,985,531 |
| 機械装置及び運搬具 | 869,342 | 902,972 |
| 減価償却累計額 | △628,211 | △705,102 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 241,130 | 197,870 |
| 土地 | 2,615,073 | 2,615,073 |
| 建設仮勘定 | 12,261 | 6,954 |
| その他 | 569,648 | 622,199 |
| 減価償却累計額 | △426,022 | △470,124 |
| その他(純額) | 143,626 | 152,074 |
| 有形固定資産合計 | 5,972,620 | 5,957,504 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | — | 358,765 |
| その他 | 73,876 | 93,096 |
| 無形固定資産合計 | 73,876 | 451,862 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,691,550 | 4,631,192 |
| 長期貸付金 | 53,669 | 55,288 |
| 繰延税金資産 | 115,259 | 261,975 |
| その他 | 813,739 | 818,340 |
| 貸倒引当金 | △25,761 | △10,436 |
| 投資その他の資産合計 | 5,648,458 | 5,756,360 |
| 固定資産合計 | 11,694,954 | 12,165,727 |
| 資産合計 | 26,882,885 | 25,401,517 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (平成24年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,254,193 | 1,122,005 |
| 未払法人税等 | 180,993 | 212,400 |
| 未払消費税等 | — | 72,144 |
| 前受金 | 172,622 | 246,320 |
| 賞与引当金 | 306,714 | 308,104 |
| 役員賞与引当金 | 30,000 | 30,000 |
| 工事損失引当金 | 168,535 | 52,788 |
| その他 | 261,553 | 345,228 |
| 流動負債合計 | 2,374,612 | 2,388,991 |
| 固定負債 | | |
| 長期未払金 | 379,801 | 374,399 |
| 退職給付引当金 | 738,249 | 822,168 |
| 繰延税金負債 | 11,704 | — |
| その他 | 124,723 | 119,661 |
| 固定負債合計 | 1,254,478 | 1,316,228 |
| 負債合計 | 3,629,091 | 3,705,220 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,251,279 | 3,251,279 |
| 資本剰余金 | 2,989,057 | 2,989,057 |
| 利益剰余金 | 16,257,173 | 16,714,458 |
| 自己株式 | △1,509,842 | △1,510,037 |
| 株主資本合計 | 20,987,667 | 21,444,757 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 275,184 | 251,538 |
| 繰延ヘッジ損益 | 2,269 | — |
| その他の包括利益累計額合計 | 277,454 | 251,538 |
| 少数株主持分 | 1,988,671 | — |
| 純資産合計 | 23,253,793 | 21,696,296 |
| 負債純資産合計 | 26,882,885 | 25,401,517 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月 31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月 31日) |
|----------------|--|--|
| 売上高 | 13,303,337 | 13,689,909 |
| 売上原価 | 9,399,311 | 10,122,661 |
| 売上総利益 | 3,904,026 | 3,567,247 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,529,585 | 2,598,700 |
| 営業利益 | 1,374,440 | 968,547 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 38,944 | 50,915 |
| 受取配当金 | 57,885 | 68,196 |
| 保険配当金 | 122,882 | 71,159 |
| その他 | 32,750 | 23,715 |
| 営業外収益合計 | 252,462 | 213,986 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 139 | — |
| 支払手数料 | 19,686 | 13,463 |
| その他 | 179 | 175 |
| 営業外費用合計 | 20,005 | 13,638 |
| 経常利益 | 1,606,896 | 1,168,894 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 332 | 558 |
| 投資有価証券評価損 | 3,759 | 8,569 |
| 会員権評価損 | 26,999 | 462 |
| 投資有価証券償還損 | 3,260 | — |
| 会員権売却損 | — | 1,840 |
| たな卸資産廃棄損 | 12,296 | — |
| 子会社事業譲渡損 | 266,696 | — |
| 特別損失合計 | 313,345 | 11,430 |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,293,551 | 1,157,464 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 671,697 | 517,887 |
| 法人税等調整額 | △53,568 | △44,906 |
| 法人税等合計 | 618,128 | 472,980 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 675,423 | 684,483 |
| 少数株主利益 | 186,014 | — |
| 当期純利益 | 489,408 | 684,483 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 675,423 | 684,483 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △183,945 | △23,645 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,026 | △2,269 |
| その他の包括利益合計 | △180,918 | △25,915 |
| 包括利益 | 494,504 | 658,567 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 312,764 | 658,567 |
| 少数株主に係る包括利益 | 181,739 | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| 株主資本 | | |
| 資本金 | | |
| 当期首残高 | 3,251,279 | 3,251,279 |
| 当期末残高 | 3,251,279 | 3,251,279 |
| 資本剰余金 | | |
| 当期首残高 | 2,989,057 | 2,989,057 |
| 当期末残高 | 2,989,057 | 2,989,057 |
| 利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 15,994,988 | 16,257,173 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △227,223 | △227,198 |
| 当期純利益 | 489,408 | 684,483 |
| 当期変動額合計 | 262,184 | 457,285 |
| 当期末残高 | 16,257,173 | 16,714,458 |
| 自己株式 | | |
| 当期首残高 | △1,508,954 | △1,509,842 |
| 当期変動額 | | |
| 自己株式の取得 | △887 | △195 |
| 当期変動額合計 | △887 | △195 |
| 当期末残高 | △1,509,842 | △1,510,037 |
| 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 20,726,370 | 20,987,667 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △227,223 | △227,198 |
| 当期純利益 | 489,408 | 684,483 |
| 自己株式の取得 | △887 | △195 |
| 当期変動額合計 | 261,296 | 457,090 |
| 当期末残高 | 20,987,667 | 21,444,757 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | | |
| 当期首残高 | 454,854 | 275,184 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △179,669 | △23,645 |
| 当期変動額合計 | △179,669 | △23,645 |
| 当期末残高 | 275,184 | 251,538 |
| 繰延ヘッジ損益 | | |
| 当期首残高 | △756 | 2,269 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 3,026 | △2,269 |
| 当期変動額合計 | 3,026 | △2,269 |
| 当期末残高 | 2,269 | — |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|---------------------|--|--|
| その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 454,098 | 277,454 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △176,643 | △25,915 |
| 当期変動額合計 | △176,643 | △25,915 |
| 当期末残高 | 277,454 | 251,538 |
| 少数株主持分 | | |
| 当期首残高 | 1,846,931 | 1,988,671 |
| 当期変動額 | | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 141,739 | △1,988,671 |
| 当期変動額合計 | 141,739 | △1,988,671 |
| 当期末残高 | 1,988,671 | — |
| 純資産合計 | | |
| 当期首残高 | 23,027,400 | 23,253,793 |
| 当期変動額 | | |
| 剰余金の配当 | △227,223 | △227,198 |
| 当期純利益 | 489,408 | 684,483 |
| 自己株式の取得 | △887 | △195 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △34,904 | △2,014,587 |
| 当期変動額合計 | 226,392 | △1,557,496 |
| 当期末残高 | 23,253,793 | 21,696,296 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 1,293,551 | 1,157,464 |
| 減価償却費 | 270,166 | 259,175 |
| 長期前払費用償却額 | 4,642 | 4,141 |
| ソフトウェア償却費 | 27,478 | 25,613 |
| のれん償却額 | — | 39,862 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 27,469 | 1,389 |
| 工事損失引当金の増減額 (△は減少) | 21,388 | △115,746 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 45,599 | 83,918 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 19,735 | △5,084 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | 6,000 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △96,829 | △119,111 |
| 支払利息 | 139 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 3,759 | 8,569 |
| 投資有価証券償還損益 (△は益) | 3,260 | — |
| 子会社事業譲渡損 | 266,696 | — |
| 固定資産廃棄損 | 332 | 558 |
| たな卸資産廃棄損 | 12,296 | — |
| 会員権売却損益 (△は益) | — | 1,840 |
| 会員権評価損 | 26,999 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △459,249 | △627,210 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △152,702 | 106,787 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 300,319 | △132,187 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | △166,578 | 73,697 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 55,122 | 19,045 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | 6,866 | 76,222 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △64,066 | 72,144 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | △18,340 | 18,340 |
| 小計 | 1,434,059 | 949,431 |
| 利息及び配当金の受取額 | 95,664 | 120,880 |
| 利息の支払額 | △139 | — |
| 法人税等の支払額 | △1,263,915 | △489,363 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 265,668 | 580,948 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △283,402 | △493,339 |
| 定期預金の払戻による収入 | 743,413 | 733,540 |
| 有価証券の取得による支出 | △1,704,991 | △400,428 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 2,099,612 | 1,978,345 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1,159,020 | △600,000 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | — | 630,000 |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △2,347,300 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △72,832 | △247,546 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △21,308 | △36,958 |
| 貸付けによる支出 | △137,700 | △20,995 |
| 貸付金の回収による収入 | 13,568 | 18,966 |
| その他 | △9,911 | △5,601 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △532,572 | △791,317 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| リース債務の返済による支出 | △1,473 | △5,211 |
| 自己株式の取得による支出 | △887 | △195 |
| 配当金の支払額 | △227,189 | △227,062 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △40,000 | △40,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △269,551 | △272,468 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △536,455 | △482,838 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,617,279 | 6,080,823 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 6,080,823 | 5,597,985 |

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

1 連結の範囲に関する事項

連結子会社は、㈱サンセイメンテナンス、サンセイメンテナンス㈱、㈱サンエース、サンセイファシリティーズ㈱の4社であり、すべての子会社を連結対象としております。

2 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日はすべて連結決算日と同一であります。

4 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

② デリバティブ取引

時価法

③ たな卸資産

原材料及び貯蔵品

移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

仕掛品

個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法によっております。（一部事業所については定額法）

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は定額法

なお、耐用年数及び残存価額については主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

なお、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与に充てるため、支給見込額を計上しております。

③ 役員賞与引当金

一部子会社については、役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当連結会計年度に見合う分を計上しております。

④ 工事損失引当金

受注工事に係る将来の損失に備えるため、当連結会計年度末における手持受注工事のうち損失の発生が見込まれ、かつその金額を合理的に見積もることができる工事について、損失見込額を計上しております。

⑤ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき計上しております。

なお、会計基準変更時差異(471,070千円)については、一括処理したものを除き、15年による按分額を費用処理しております。

(4) 重要なヘッジ会計の方法

① ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理法を採用しております。

為替予約等が付されている外貨建金銭債権債務については振当処理を行っております。

② ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…為替予約取引

ヘッジ対象…外貨建金銭債権債務

③ ヘッジ方針

デリバティブ取引に対する方針は、輸出入取引に係る外貨建金銭債権債務に対して、為替相場の変動によるリスクを軽減する目的で行っております。

④ ヘッジ有効性評価の方法

為替予約は、外貨建取引の範囲内で行うものであり、実行の可能性が極めて高いため、有効性の判定は省略しております。

(5) 収益の計上基準

売上高の計上基準は、成果の確実性が認められる工事については、工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

(6) のれんの償却方法及び償却期間

10年間で均等償却しております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっております。

(7) 追加情報

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、舞台機構・遊戯機械・昇降機を製造納入する部門と、納入した製品の保守・改修を行う部門とに区分されます。

よって、舞台機構・遊戯機械部門・昇降機を「製品製造関連」とし、製品の保守・改修部門を「保守改修関連」とする2つの報告セグメントから構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
| | 製品製造関連 | 保守改修関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,032,617 | 8,045,819 | 13,078,437 | 224,900 | 13,303,337 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,722 | — | 5,722 | 780 | 6,502 |
| 計 | 5,038,340 | 8,045,819 | 13,084,159 | 225,680 | 13,309,840 |
| セグメント利益 | 1,107,933 | 1,002,571 | 2,110,504 | 80,857 | 2,191,362 |
| セグメント資産 | 6,694,057 | 8,901,700 | 15,595,758 | 1,173,475 | 16,769,233 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 182,211 | 16,303 | 198,515 | 42,323 | 240,839 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 75,692 | 5,168 | 80,860 | — | 80,860 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

当連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|------------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| | 製品製造関連 | 保守改修関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,473,827 | 8,987,747 | 13,461,575 | 228,334 | 13,689,909 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 846 | 1,380 | 2,226 | 420 | 2,646 |
| 計 | 4,474,674 | 8,989,127 | 13,463,801 | 228,754 | 13,692,556 |
| セグメント利益 | 889,665 | 943,174 | 1,832,839 | 66,291 | 1,899,131 |
| セグメント資産 | 6,819,289 | 10,139,222 | 16,958,512 | 1,146,401 | 18,104,913 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 167,250 | 19,895 | 187,145 | 42,510 | 229,655 |
| のれんの償却額 | — | 39,862 | 39,862 | — | 39,862 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 261,423 | 3,907 | 265,331 | 4,704 | 270,035 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|--------------|------------|------------|
| 報告セグメント計 | 13,084,159 | 13,463,801 |
| 「その他」の区分の売上高 | 225,680 | 228,754 |
| セグメント間取引消去 | △6,502 | △2,646 |
| 連結財務諸表の売上高 | 13,303,337 | 13,689,909 |

(単位：千円)

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 2,110,504 | 1,832,839 |
| 「その他」の区分の利益 | 80,857 | 66,291 |
| 全社費用(注) | △816,921 | △930,584 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 1,374,440 | 968,547 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

| 資産 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|------------|------------|
| 報告セグメント計 | 15,595,758 | 16,958,512 |
| 「その他」の区分の資産 | 1,173,475 | 1,146,401 |
| 全社資産(注) | 10,199,467 | 7,296,724 |
| その他の調整額 | △85,815 | △120 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 26,882,885 | 25,401,517 |

(注) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)および管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | その他 | | 調整額 | | 連結財務諸表計上額 | |
|--------------------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|---------|
| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
| 減価償却費 | 198,515 | 187,145 | 42,323 | 42,510 | 56,806 | 55,133 | 297,645 | 284,789 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 80,860 | 265,331 | — | 4,704 | 13,921 | 19,416 | 94,782 | 289,452 |

(注) 1. 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,310円35銭 | 1,336円96銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 30円16銭 | 42円18銭 |

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日) | 当連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | | |
| 当期純利益(千円) | 489,408 | 684,483 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 489,408 | 684,483 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 16,229,560 | 16,228,350 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

本日（平成24年5月11日）公表の「組織変更および人事異動に関するお知らせ」をご覧ください。